



フェミニスト・ダリット協会(FEDO)

3. 添付資料：活動報告

FEDO ダリット女性に対する暴力の削減プロジェクト

2017年報告 2017年4月～2018年3月

フェミニスト・ダリット協会 (FEDO) パルサ支部

はじめに

パルサ郡は工業地帯であるにもかかわらず、総人口の約半分以上が貧困線以下の生活にあり、地域の子どもを取り巻く教育環境は非常に悪く、その根本原因は高い失業率にあると言われていています。フェミニスト・ダリット協会(FEDO)は、反差別国際運動(IMADR)のサポートを受けて、パルサ郡のビルガンジを始めとしたさまざまな町で、ダリットの女性と女兒に対するカーストに基づく差別と政治的・社会文化的暴力を削減する活動を行ってきました。同プロジェクトの実施にあたり、多大なご支援をいただいている浄土宗平和協会に感謝を申し上げます。

活動内容

S. N	活動内容	目標	達成
1.	ダリット女性グループの強化と動員	28	28
2.	ドメスティック・バイオレンスのケース収集と裁判手続き	16	16
3.	ドメスティック・バイオレンスに対する地区レベルの活動に関する会合(年4回)	4	4
4.	ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに関するトレーニング(女性グループ対象)	5	5
5.	集会・デモ	2	2
6.	地区レベルでのモニタリング	4	4
7.	地区レベルにおける共闘関係の構築と地域行政機関との連携	1	1
8.	トレーニングを受けた夫婦/義母/義父/娘の意見交換プログラム	1	1

1. ダリット女性グループの強化と動員

IMADR と浄土宗平和協会のサポートを得て FEDO が始めた ‘ダリット女性に対する暴力の削減プロジェクト’ において、 ‘ダリット女性グループ参加の呼びかけ’ というテーマで2つの会合をもった。この会合では、支援対象となる女性を交え、地域レベルの行政サービス・施設でどのようにしてダリットの子ども・女性の生活水準を向上させていくかという点について話し合われた。

協議事項:

- ダウリー(結婚持参金)の慣習
- 市民権
- 女性に対する暴力事件で裁判を起こす場合の難しさ



フェミニスト・ダリット協会(FEDO)

3. 添付資料：活動報告

- 有権者教育
- 資金作り

パルサ地域で活動する女性グループのリストと会合への参加者数:

SN	グループ名	会合開催日	参加者数
1.	Jayamahabir Dalit Women Group	2017年3月5日	12
2.	Santoshimai Dalit Women Group	2017年3月12日	16
3.	Bindawasini Dalit Women Group	2017年3月18日	21
4.	Pasupati dalit Women Group	2017年3月24日	19
5.	Gahwamai +Durga Dalit Women Group	2017年3月31日	23
6.	Shanti Dalit Women Group	2017年6月5日	10
7.	Shivaji Dalit Women Group	2017年6月11日	11
8.	Sangam Dalit Women Group	2017年7月24日	22
9.	Srijana Dalit Women Group	2017年7月27日	22
10.	Sansarimani Dalit Women Group	2017年8月10日	24
11.	Atmanibhar Dalit Women Group	2017年9月7日	23
12.	Jayamabhir Dalit Women Group	2017年9月14日	17
13.	Jagriti Dalit Women Group	2017年9月19日	17
14.	Gahawamai Dalit Women Group	2017年9月24日	26
15.	Santoshimai Dalit Mahila Samuha-7 Birgunj	2017年10月16日	10
16.	JayMahabir Dalit Mahila Samuha-Shirishiya 23	2017年11月12日	18
17.	Aatma Nirvhar and Jagrit Mahila Samuha-Shirishiya	2017年11月10日	22
18.	Bahudaramai Dalit Mahila Samuha- Bairiya	2017年12月10日	23
19.	Bindawasani Dalit Mahila Samuha- Bairiyairta	2017年12月12日	25
20.	Ekata Dalit Mahila Samuha- Birgayj-1	2017年12月12日	23
21.	Shivaji Dalit Mahila Samuha-6	2017年12月14日	17
22.	Satomai Dalit Mahila Samuha-6	2017年12月15日	23
23.	Muskan Dalit Mahila Samuha, Enarkha-16	2018年1月8日	35
24.	Jagarit Dalitv Mahila Samuha Kha. L- 25	2018年1月16日	16
25.	Pratibha Dalit Mahila Samuha, Siripur	2018年1月28日	16
26.	ShansarMai Dalit Mahila Samuha Bhansar, Sirisiya	2018年2月2日	25
27.	Chetana Dalit Mahila Samuha Mauje, Shirisiya	2018年2月25日	14
28.	Pashupati Dalit Mahila Samuha	2018年2月28日	26
29.	Bajrangbali Dalit Mahila Samuha	2018年3月5日	16

3. 添付資料：活動報告

成果：

- ダウリー(結婚持参金)の慣習に起因する暴力の事例が増加しているという事実を共有した。
- 参加者が、既婚女性が市民権をもつことが暴力の減少につながるという重要事項を認識した。
- 毎月 50 ルピーを貯金に当てることが奨励された。
- ダウリー根絶のために、教育が重要な役割を担っていることを確認した。
- 女性が自立した生活を送ることに期待されていることを認識した。
- リーダー候補となるダリット女性のシーダーシップ養成の必要性を共有した。
- 女性の政治参加の重要性を確認した。
- ダリット女性の活動とその成果に、非ダリットの女性が興味を持ち始めた。
- 非ダリット女性が、ダリット女性をサポートする組織(Dalit Mahila Sangh)に対して、参加の意欲を示し始めた。
- 女性による労働がより理解されるようになり、またより協力的に行なわれるようになってきた。
- ダリット女性がドメスティック・バイオレンスの問題について公然と話し、加害者に対して訴訟を起こす事例が増えてきた。
- 地域の警察署にも被害届が出されるようになってきた。
- 女性の有権者教育の重要性を共有した。
- 女性グループから 18 人が地方選挙に立候補し、7 人が当選した。

2. ドメスティック・バイオレンスのケース収集と裁判手続き

ドメスティック・バイオレンスの事件を集め、証拠書類を作成して裁判手続きを行うことは非常に重要である。このプロジェクトでは、女性に対する暴力に関するすべての事件が入念に分析され、被害を受けた女性に対して特別な支援が提供された。被害者の女性はそれぞれ無事に帰宅し、家族と幸せに暮らしている。

関連していた問題は、以下の通りである。

- ドメスティック・バイオレンス(アルコール依存症を含む)
- 一夫多妻
- ダウリー
- 家族に関する問題

成果：

- 被害に遭った女性が、事件をより積極的に報告するようになった。
- ダリットだけでなく非ダリットの女性も事件を報告するようになった。
- 組織の評判がよくなった。
- 被害女性の家族がより協力的になった。



3. 添付資料：活動報告

3. ドメスティック・バイオレンスに対する地区レベルの活動に関する会合(年4回)

‘ドメスティック・バイオレンスに関する地域の活動家’というテーマで、2017年11月29日と2018年2月26日に会合をもった。参加者数は、それぞれ順に20人と24人であり、2018年2月の会合には男性(6人)も参加した。

協議事項:

- 選出されたダリット女性対象の1日オリエンテーションプログラム
- 地区レベルでの、女性に対する暴力に関連する集会
- 国際女性デーのためのプログラム
- プログラムの概要
- 地区レベルでの協力関係の構築

決議事項:

- 選出された女性のためのオリエンテーションプログラムを組む。
- 人権委員会への働きかけと同時に、不可触性と女性への暴力についてより大きな声を上げる。
- 女性に対する暴力において、被害者女性に有利な形で決着した事例を増やす(議論時はわずか4件)。
- 2018年3月8日の国際女性デーへ向けて、集会と献血プログラムを企画する。
- 地区レベルの連携に向けて、ダリット出身 Mahila Sangh をリーダーとして、パルサ地域の全てのダリットリーダーと活動家によるネットワーキングの機会を作る

成果:

- すべての参加者が選出されたダリット女性のためのプログラムを FEDO 中央本部で行うことに合意した。
- 裁判所に提出されている暴力に関連する事例が以前より増えてきている。
- Ganesh Mahara がダリットの私立学校の校長に就任した。
- プレッシャー・グループ代表の Nagi Devi がダリット女性3人の演説を助けた。
- 地区住民が FEDO の活動を認め始めた。
- ダリットの女性の権利に関して女性だけでなく男性も声を上げるようになった。
- すべてのダリットのリーダーがダリットに関する問題を認識し、断固たる対応をとると意思表示をした。
- Rekha Devi Das と Ramjasi devi Ram の2人のダリット女性が“マグディ警察”の一員となった。
- プレッシャー・グループのメンバー、Pramila Devi が地方選挙のダリット枠で当選した。



フェミニスト・ダリット協会(FEDO)

3. 添付資料：活動報告

4. ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに関するトレーニング(女性グループ対象)

ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに関する1日トレーニングが5つのダリットコミュニティで行われた。

SN	トレーニングが行われた場所・都市	トレーニング日	参加者数
1.	Yuwa Sports Club, Chapakaiya-1 Parsa	2017年12月20日	20
2.	Nepal Rastriya Prathamik Vidhyalaya Gahava-8 Parsa	2017年12月19日	25
3.	Beriya Birta, Parsa	2017年12月18日	30
4.	Nepal Rastriya Prathamik Vidhyalaya Birgyaj Parsa	2017年12月16日	25
5.	Shree Nepal Rastriya Prathamik Vidhyalaya Birgyaj Parsa	2017年12月15日	31
合計			131

合計で131人がこの1日トレーニングを受講し、女性の権利と地区で活動するリーダーについての知識を深めた。

トレーニング内容:

- エンパワーメントとは — どのようにしてダリット女性はエンパワーされるべきか。
- 女性に関するすべての国際人権条約
- リーダーの役割とは — ダリット女性の権利に関する社会変革。

成果:

- コミュニティの住民の知識を深めることができた。
- 農村部の住民のエンパワーメントとその重要性についての認識が高まった。
- 発展・開発途上社会における、女性の重要性を認識した。
- トレーニング参加者が、自分たちの主体性は尊重されていると感じるようになった。
- 教育を最優先事項として認識するようになった。
- トレーニング参加者が社会に良い変化をもたらしたいという意欲を見せるようになった。

5. 集会・デモ



フェミニスト・ダリット協会(FEDO)

3. 添付資料：活動報告

2017年11月30日に、16日間に及ぶキャンペーンが行なわれ総勢61人の女性が参加した。このキャンペーンは、Khalbatol 地区を始めとして、Khalwatol 地区、Bhansar Sirisiya 地区、Mijey Sirisiya 地区などパルサ地域のほとんどをカバーしており、キャンペーン最終日には Bhansar Sirisiya 地区の Madhbari Dharma で集会が行われた。また、3月8日には、108回目の国際女性デーを祝うイベントが Birjung 地区で開催された。

成果：

- キャンペーンに多くの女性が参加した。
- 女性に対する暴力への関心が高まり、女性主体の、根絶へ向けた解決策を模索する動きが見られるようになった。

6. トレーニングを受けた夫婦/義理の母娘のための意見交換プログラム

2017年9月5日に本プログラムが Khalwatol 地区で行われ、女性18人男性12人が参加した。女性に対する暴力の削減へ向けて3者が一堂に会する貴重な機会であり、視点の共有によって他者の視点で物事を理解する効果的なプログラムであった。

目的：

- 夫婦/義理の親子間のドメスティック・バイオレンスを減らす。
- 家庭内の調和を高める。
- 女性に対する暴力を減らすために必要なより深い理解を促す。

成果：

- 女性に対する暴力に関連した法律について知識を深めた。
- 男性がこのプログラムに対して肯定的な印象を持つようになった。
- 家族とより良い生活を送るためには、お互いに協力しなければならないことを認識した。

7.

8. 地区レベルでのモニタリング

Gahavamai ダリット女性グループと Durga ダリット女性グループを対象に、Uthan Bachat Tatha Sahakari Sanstha によってモニタリングが行なわれた。

Sahakari Sanstha がモニタリングをしたメリットは、以下の通りである。

- コミュニティの住民が月々200ルピーを貯金に回し始めた。
- 現在すべてのメンバーが相互扶助の関係にある。



3. 添付資料：活動報告

- 株主は 30000 ルピーのローンを組むことが義務付けられた。
- コミュニティレベルでの活動へ向けて動き出している。
- 女性だけでなく男性の積極的な参加もみられる。
- チャイルド・トラスト・ファンドとしても運用している

モニタリングから見えた課題：

- ダリットと非ダリットの対等な参加が実現し、両者が協力関係になると理想的である。
- 冬場の寒さに対処するために、毛布の配布時期を早めた方が良い。
- 金銭的なサポートをしてくれるよう組織に求めている。

より大きな機会となるための改善策：

- 非ダリットの人びとを巻き込む。

課題/推奨事項：

- マデシのストライキ。
- 会合の際にお茶とスナックを用意する。
- ダリット女性グループに経済的な自立を促すトレーニングを企画する。

9. 地区レベルにおける共闘関係の構築と地域行政機関との連携

地域レベルにおける連携に向けての会合はプレッシャー・グループ代表の Nagi Devi Gosai とビルガンジ副市長 Shanti Karki を交えて行われた。会議出席者は合計 26 人(女性 12、男性 14)で、政党、地域行政機関の代表者、市民社会組織からの参加もあり有意義な会合となった。

成果：

- ネパール会議派(政党)の Shyam Patel 書記長に、ダリット女性に平等な政治参画の機会を保障するよう求める要望書を提出した。
- 参加者はドメスティック・バイオレンスを減らすための内省の重要性を理解した。